

ナスの黒枯病抵抗性育種のための素材の探索



写真1 「発病程度1」の葉



写真2 「発病程度4」の葉

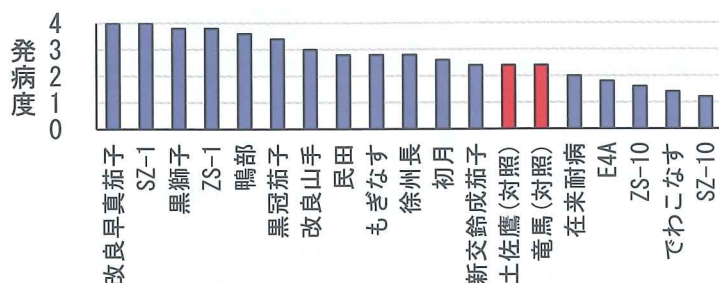


図1 検定系統における黒枯病の発病度(第1回検定のみ抜粋)



写真3 「ZS-10」の果実

表1 黒枯病に抵抗性を示した系統の発病度

	検定		
	1回目	2回目	3回目
SZ-10	1.2	1.0	1.5
でわこなす	1.4	1.6	2.0
ZS-10	1.6	1.0	1.5
土佐鷹(対照)	2.4	3.0	2.3
竜馬(対照)	2.4	2.8	2.0

発病度 = Σ (程度別発病葉数 × 発病程度) / 調査葉数。

本県のナス栽培では、天敵利用率の向上に伴って農薬の使用が減少し、これまでは問題にならなかった病害の発生が増えています。中でも黒枯病については、発生面積率が93%(平28)に及び生産者からは薬剤防除労力の軽減が望まれています。そこで、当センターでは黒枯病に強い品種の育成を目指してナス遺伝資源を探しています。

これまでに、海外の系統を含むナス遺伝資源99系統に黒枯病菌を接種し、発病程度(写真1、2)を調査した結果、対照の2品種「土佐鷹」と「竜馬」よりも発病度が低い系統がみられることがわかりました(図1)。中でも「ZS-10」「SZ-10」の2系統は複数回検定しても対照品種より発病度が低くなりました(表1)。この2系統は黒枯病に強いことが期待されますが、日本のナスとは特性が全く異なるため(写真3)、果実の形や色を改良する必要があります。今後は、ここで見出した抵抗性系統を用いて中間母本を育成するとともに、引き続き抵抗性を持つ素材を探します。

(園芸育種担当 小笠原一真 088-863-4916)

高知県農業技術センターニュース 第100号 令和2年7月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 竹内 繁治

農業技術センター

〒783-0023

高知県南国市廿枝 1100

TEL (088) 863-4912

FAX (088) 863-4913

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064

高知市朝倉丁 268

TEL (088) 844-1120

FAX (088) 840-3816

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801

吾川郡仁淀川町森2792

TEL (0889) 32-1024

FAX (0889) 32-1152

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>